

2024 年度 自己点検・評価報告書

2024 年度
(令和6年度)
動物実験に関する自己点検・評価報告書

岡山理科大学

2025年6月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程、岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程、岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則、動物実験管理体制図</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(以下「飼育保管基準」という。)と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」(以下「基本指針」という。)に則って、岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程、岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程、岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則が定められている。また、今治キャンパス(獣医学部)に関しては、AAALAC 認証取得に伴い ILAR ガイド(米国指針「実験動物の管理と使用に関する指針」)にも従った動物実験の運用管理体制を行うため、前述の全学規程に ILAR ガイドの内容を取り込んだ岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則及び岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則が定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程、岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程、岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則、2024 年度動物実験管理委員会名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>全学委員会の構成(2024年度):教授4名、准教授4名の計8名(動物実験等に関して優れた識見を有する者:5名、実験動物に関して優れた識見を有する者:2名、その他学識経験を有する者:1名)</p> <p>岡山管理部会(2024年度):教授4名、名誉教授1名、准教授4名の計9名(動物実験等に関して優れた識見を有する者:6名、実験動物に関して優れた識見を有する者:2名、その他学識経験を有する者:1名)</p> <p>今治管理部会(2024年度):教授9名、准教授2名、講師1名、管理獣医師1名、外部委員1名(私立大学理事)の計14名(動物実験等に関して優れた見識を持つ者:6名、実験動物に関して優れた識見を有する者:5名、その他学識経験を有する者:3名)</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 □ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制を定めていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p>

岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程、岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程、岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則、岡山理科大学動物実験計画書様式(岡山キャンパスおよび今治キャンパス)、動物実験結果報告書様式、動物実験計画書(変更・追加)承認申請書様式、飼養保管施設設置申請書様式、動物実験室設置申請書様式、施設等(飼養保管施設・動物実験室)廃止届様式、動物実験(終了・中止)報告書様式
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 動物実験の実施に必要な動物実験規程等及び各種申請書様式等が適正に定められている。規程において基本指針で定める動物実験に該当しない実験計画の審査も必要に応じて対応していることから、実験計画書様式の想定される苦痛のカテゴリーの記入欄の修正が必要である(2024 年度での該当申請なし)。
4) 改善の方針、達成予定時期 2025 度中をめどに実験計画書様式の記入欄の修正を行う。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 岡山理科大学組換え DNA 実験安全管理規程、岡山理科大学組換え DNA 実験安全委員会規程、組換え DNA 実験安全小委員会細則、岡山理科大学今治キャンパス放射線障害予防規程、岡山理科大学岡山キャンパス放射線障害予防規程、岡山理科大学岡山キャンパス放射線・X 線安全委員会規程、岡山理科大学今治キャンパス放射線・X 線安全委員会規程、獣医学部病原体等安全管理委員会規程、岡山理科大学病原体等安全管理規程、岡山理科大学獣医学部病原体等安全管理細則、岡山理科大学獣医学部「BSL2 及び BSL3 実験室」運営要領、岡山理科大学化学物質取扱要領、岡山理科大学環境安全衛生センター規程、岡山理科大学安全対策マニュアル
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 規程等により安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管施設設置申請書様式、動物実験室設置申請書様式、施設等(飼養保管施設・動物実験室)廃止届様式、動物飼育室の利用マニュアル(岡山キャンパス)、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則、動物飼育室の緊急時対応マニュアル(岡山キャンパス)、今治キャンパス動物施設災害対応計画(Disaster Plan)(今治キャンパス)、炭酸ガス(CO ₂)を用いたげっ歯類の安楽死に関する手順書(今治キャンパス)、動物施設における呼吸器保護具の使用に関する手順書(今治キャンパス)、動物関連業務を行う学外関係者の医学的評価に関する手順書(今治キャンパス)、動物福祉に関わる問題事例の調査と報告に関する手順書(今治キャンパス)、岡山理科大学安全対策マニュアル、実験動物飼養保管施設一覧
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程等に定められており、確認に必要な各種省式等も適正に定められている。また、飼養保管施設の利用に関するマニュアルや地震や火災等の緊急時に対応マニュアルが整備されている。今治キャンパスでは、ILAR ガイドに対応するための詳細マニュアルも整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

外来生物法や化製場法の適応を受ける動物の飼養に際しては、法令に基づき適切な許可を得た上で実施している。今治キャンパスでは ILAR ガイドの要求事項も満たすような動物実験等の実施体制としている。なお、今治キャンパス獣医学部は国際実験動物ケア評価認証協会(AAALAC International)の完全認証を取得している。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程、岡山理科大学全学動物実験管理委員会規程、岡山理科大学岡山キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験管理部会に関する細則、全学委員会議事録、管理部会議事録(今治キャンパス)、2024 年度動物実験計画一覧、動物実験計画書審査記録、動物実験結果報告書、動物実験(終了・中止)報告書、実験動物飼養保管状況の自己点検票、動物実験の自己点検票、実験動物飼養保管施設視察記録、教育訓練資料</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程に基づき以下の事項について審議又は調査し、学長に報告又は助言している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 動物実験計画が法令等及び本規程に適合していること。 2. 動物実験計画の実施状況及び結果に関すること。 3. 施設等の設置及び実験動物の飼養保管状況に関すること。 4. 動物実験及び実験動物の適正な取扱い並びに法令等に関する教育訓練の内容又は体制に関すること。 5. 自己点検・評価及び情報公開に関すること。 6. その他、動物実験の適正な実施のための必要事項に関すること。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験計画書審査記録、2024 年度動物実験計画一覧、動物実験結果報告書、動物実験(終了・中止)報告書、動物実験の自己点検票、動物実験計画書の年間承認件数一覧</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物実験計画書を審査し、学長の承認を得るとともに、動物実験結果報告書、動物実験(終了・中止)報告書および動物実験の自己点検票により動物実験の実施状況を把握した。</p> <p>2024 年度の動物実験計画承認件数 148 件(2023 年度より継続課題 68 件を含む)(うち実施 115 件):岡山キャンパス 34 件(継続 11 件を含む)、今治キャンパス 114 件(継続 57 件を含む)</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 □ 該当する動物実験を行っていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>2024 年度動物実験計画一覧、動物実験結果報告書、動物実験の自己点検票、実験動物飼養保管状況の自己点検票、実験動物飼養保管施設視察記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。議事録の共有、事務の共通化により安全管理に注意を要する動物実験に関連する委員会と情報共有を図った。また、当該する実験について、事故等の報告はなかった。</p> <p>2024 年度の対象となる動物実験計画承認件数 41 件 (岡山キャンパス 6 件、今治キャンパス 35 件)</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>岡山理科大学今治キャンパスにおける動物実験等に関する取扱細則、動物飼育室の利用マニュアル(岡山キャンパス)、動物飼育室の緊急時対応マニュアル(岡山キャンパス)、今治キャンパス動物施設災害対応計画(Disaster Plan)(今治キャンパス)、炭酸ガス(CO₂)を用いたげっ歯類の安楽死に関する手順書(今治キャンパス)、動物施設における呼吸器保護具の使用に関する手順書(今治キャンパス)、動物関連業務を行う学外関係者の医学的評価に関する手順書(今治キャンパス)、動物福祉に関わる問題事例の調査と報告に関する手順書(今治キャンパス)、岡山理科大学安全対策マニュアル、実験動物飼養保管状況の自己点検票、動物実験の自己点検票、実験動物飼養保管施設視察記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>利用マニュアルや取扱細則類により飼養保管が適正に実施されている。動物飼育室の利用マニュアル(岡山キャンパス)に改善すべき点が見られたため改訂を行うとともに、飼育室内の整理や衛生管理、微生物モニタリング等の必要な改善を行った。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>飼養保管施設設置申請書、実験動物飼養保管施設一覧、実験動物飼養保管施設視察記録、実験動物飼養保管状況の自己点検票、空調設備整備報告書(今治キャンパス)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>実験動物飼養保管状況の自己点検票の提出および委員会による視察により岡山理科大学における動物実験等に関する取扱規程が求める設置基準を満たしていることを確認している。機関内の飼養保管施設は適正に維持管理されている。</p> <p>承認された実験動物飼養保管施設 11 ヶ所(岡山キャンパス 6 ヶ所、今治キャンパス 5 ヶ所) 施設名称:臨床生命科学科飼育室、工学・生命科学部飼育室、動物学科飼育室(1・2)、動物学科屋外飼育</p>

場、生物地球学部飼育室(爬虫類)、獣医学部実験動物センター、獣医学部教育病院棟飼育室(1・2)、獣医学部大動物実習施設、獣医学部動物繋養施設
承認された実験室 20 ヶ所(岡山キャンパス 12 ヶ所、今治キャンパス 8 ヶ所)
今治キャンパスでは、前年度の年次点検でみられた実験動物センターの感染実験飼育室系統の排気フィルターと空調機フィルターの劣化について、それぞれ更新を行った。また、今年度の年次点検で経年劣化がみられた外調機のモーター軸受とスクラバ装置について次年度に補修予定である。

4) 改善の方針、達成予定時期
外調機のモーター軸受は部品交換を、スクラバ装置はオーバーホールをそれぞれ 2025 年度での実施を計画している(今治キャンパス)。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果
 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料
動物実験教育訓練実施記録、動物実験教育訓練受講者リスト、岡山理科大学動物実験講習会資料

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
教育訓練の実施記録等によって基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。
2024 年度の教育訓練実施回数:22 回(岡山キャンパス:11 回 のべ 259 名、今治キャンパス:8 回 のべ 238 名)

4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果
 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料
岡山理科大学の動物実験に関する自己点検・評価報告書、岡山理科大学における動物実験等に関する情報のホームページ(<https://www.ous.ac.jp/outline/disclosure/expanimcommitte/#tenken>)

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書をはじめ外部検証結果報告等、岡山理科大学における動物実験に関する情報を公開している。

4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

実験動物慰霊祭を開催した。
岡山キャンパス:2025 年 2 月 18 日(参加者:65 名)、今治キャンパス:2024 年 12 月 6 日(参加者:227 名)

2024 年度実験動物の使用状況

動物種	使用数
マウス	2975
ラット	936
ハムスター	49
スナネズミ	006
モルモット	8
イヌ	6

2024 年度 自己点検・評価報告書

ウシ	4
ハタネズミ	1076
トゲマウス	382
ヌートリア	1
シンクス	136
シカ	1
ニワトリ	104
ニワトリ(受精卵)	2360
ウズラ(受精卵)	740
ヘビ	20
トカゲ	18

2024 年度実験動物の飼養状況(年平均)

動物種	使用数
マウス	594
ラット	78
ハムスター	18
スナネズミ	30
ハタネズミ	247
トゲマウス	84
ヌートリア	9
シンクス	122
イヌ	24
ネコ	12
シカ	1
ウズラ	22

動物実験計画書の年間承認件数(5年間)

実験開始	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
2020/4/1～2021/3/31	122	8			
2021/4/1～2022/3/31		146	84		
2022/4/1～2023/3/31			81	29	
2023/4/1～2024/3/31				137	68
2024/4/1～2025/3/31					80
合計(件)	122	154	165	166	148

* 未実施計画も含む